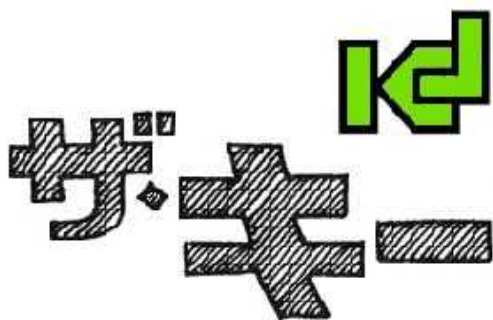




JARLクラブ登録番号 10-4-68 ↓ replace [(a)] with [0]
 発行 JR3KQJ 中島 昌己 (jr3kqj(a)jarl.com)
 編集 JH3HGI 吉村 豊樹 (thekey(a)kcj-cw.com)
 印刷 JA1PHE 大屋 宣昭
 レポート管理 JA20LJ 岩川 吉伸 (kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
 会報発送管理 JH3EZV 勝本 健
 会員部 JM1PWW 工藤 博昭 (kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
 会計 JA5QYR 佐々木広武

KCJ ホームページ <http://www.kcj-cw.com>

【JARL香川県支部大会・西日本ハムフェアのKCJブースへようこそ！！】



【KCJのご紹介】

私たち『KCJ（全国CW同好会・Keymen's Club of Japan）』はCW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時にCW通信技術を高めるために努力しています。CW同好会が、将来ただの「CW保存会」になってしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが死んで博物館に置かれるような保存ではなく、その電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段として世界を飛びまわっている「動態保存」であれば、これは愉快的なことではないでしょうか。そのために、本会は、「下手の横好き」の会ではなく、「好きこそものの上手」の会になるべく努力を積み重ねたいと思っています。略称のKCJ（Keymen's Club of Japan）には、メンバーの一人ひとりが良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界のKey stoneを守る人物でありたいという願い

が込められています。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。いつときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心をもったりというだけでなく、通信の原点であるCWが大好きで、CWを生涯、腕を磨くテーマの一つにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

本会への入会をご希望の方は本紙4ページまたは「KCJ公式ホームページ」をご覧ください。

(<http://www.kcj-cw.com/>)

【KCJの沿革】

- ・1976年 9月：設立総会（名古屋市）
会員62名で発足
- ・1977年 9月：KCJAアワード発行開始
- ・1979年10月：都道府県略称制定
- ・1980年 8月：第1回KCJコンテスト開催
- ・1980年10月：JARL登録クラブ(#10-4-68)となる
- ・1985年 2月：第1回トップバンドコンテスト開催
- ・1986年10月：10MHz QSO Festival開催
(その後WARC Band QSO Festival
となり2000年5月迄)
- ・1995年 7月：第1回KCJ VHF&UPコンテスト開催
(2002年迄)
- ・1997年 5月：WEBページ開設
- ・2000年 4月：初のDX友好会員を迎える
- ・2001年10月：KCJA-meアワード発行開始
- ・2004年 9月：JARLコンテストのドナーとなる
- ・2005年 8月：ハムフェア初参加
- ・2006年 9月：第16回総会（吹田市）
設立30周年 会員163名
- ・2007年 6月：KCJ設立30周年記念QSOパーティー
開催
- ・2009年 8月：KCJコンテストにマルチオペ部門
を新設
- ・2011年 2月：クラブ局 JR8YLYを開設
- ・2011年 8月：東日本大震災に際し有志から募金
を募り日本赤十字社に寄付

上の沿革のとおり来年（2016年）はKCJ設立40周年の年です。現在、役員会および40周年記念行事検討委員会で記念行事を検討中です。会員外の方々にも楽しんでいただける事業を考えていますので、どうぞご期待ください！！

Members activity report (2015 Jan)

今月の一言

BY JA2OLJ/QRPP

春の訪れが、日の出・日の入りの時刻の変化とともに 感じられ始めました。
 国内外のCNDXも 日替わり定食で、良い日・悪い日 様々です。
 しかし、温かくなるにつれて、移動局も増加し、国内の賑わいが増してくるのではと、期待しています。
 各自の目標に一歩ずつ近づくように 日々 努力して下さい。
 今月のレポートは 16局 ありました。有難うございました。

KCJA	計	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	現在
1 JR3KQJ	660	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	45	34	11	6	47	1501
2 JA5CUX	636	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	42	42	32	1	2	47	1411
3 JA1KI	597	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	24	16	12	11	18	47	1409
4 JG6CDH	591	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	40	36	0	0	0	45	1501
5 JA2MYA	590	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	41	27	7	0	0	45	1501
6 JA2OLJ	577	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47	33	34	15	-	-	26	1501
7 JA1COP	559	41	47	47	47	47	46	45	42	39	47	27	22	15	0	0	47	1208
8 JH3HGI	552	47	47	47	47	47	47	47	45	45	40	23	16	7	0	0	47	1409
9 JG3LGD	545	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	24	15	0	0	0	36	1210
10 JE1KNT	517	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	15	18	8	0	0	7	1205
11 JH1NXU	517	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47	24	13	10	-	1	0	1404
12 JH4RGH	497	46	47	47	47	47	47	47	46	46	42	21	9	5	0	0	0	1010
13 JA5NSR	497	47	47	47	47	47	47	47	47	47	43	20	11	0	0	0	0	1207
14 JM1HUX	494	47	47	47	47	47	47	47	46	46	36	23	14	0	0	0	0	1305
15 JH7VOT	486	47	47	47	47	47	47	47	46	47	47	15	2	0	0	0	0	1408
16 JA8PON	475	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	5	0	0	0	0	0	1405
17 JJ1INO	425	47	47	47	47	47	45	46	41	34	24	0	0	0	0	0	0	1408
18 JA7TJ	423	46	47	47	47	47	46	47	45	47	0	2	2	0	0	0	0	1501
19 JO3OMA	420	38	47	47	46	32	44	35	28	33	47	12	11	0	0	0	0	1410
20 JO1XEU	399	47	47	47	47	47	45	46	44	29	-	-	-	-	-	-	-	1501
21 JH1XUP	398	6	47	47	47	46	26	42	33	39	46	12	7	0	0	0	0	1501
22 JG8NKJ	325	4	47	47	41	47	27	47	5	44	16	-	-	-	-	-	-	1501
23 JA2FEA	319	0	1	47	47	46	41	47	30	30	0	14	16	0	0	0	0	1205
24 JQ1CIV	293	1	42	47	47	29	37	24	15	18	16	8	9	0	0	0	0	1401
25 JS2KHM	227	-	26	47	47	37	6	16	1	5	17	13	12	-	-	-	0	1501
26 JN4HTR	224	27	44	47	46	32	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1411
27 JG7UVO	177	-	11	35	47	24	29	16	12	0	3	-	-	-	-	-	-	1501
28 JA2PYD	139	-	29	47	13	22	2	20	1	3	2	-	-	-	-	-	-	1404

KCJA	計	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	660	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	45	34	11	6	47	0	1412
JG6CDH	591	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	40	36	-	-	-	45	0	1412
JA2MYA	590	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	41	27	7	0	0	45	0	1412
JA2OLJ	577	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47	33	34	15	-	-	26	0	1412
JA7TJ	423	46	47	47	47	47	46	47	45	47	-	2	2	-	-	-	-	0	1412
JO1XEU	399	47	47	47	47	47	45	46	44	29	-	-	-	-	-	-	-	1	1412
JH1XUP	398	6	47	47	47	46	26	42	33	39	46	12	7	0	0	0	0	8	1410
JG8NKJ	325	4	47	47	41	47	27	47	5	44	16	-	-	-	-	-	-	1	1412
JS2KHM	227	-	26	47	47	37	6	16	1	5	17	13	12	-	-	-	-	10	1412
JG7UVO	177	-	11	35	47	24	29	16	12	0	3	-	-	-	-	-	-	28	1405

【CWer のためのアワード『KCJA』(Keymen's Century of Japan Award)のご案内】



※ KCJA 賞の基本規約は次のとおりです。

☆日本の1都道府県とのモールス符号を使用する電信による交信で得たQSLを1点とし、下記の規定の点数を得ることにより発行される。ただし1バンドにおいては、1都道府県との交信は1回に限るものとする。

100点・・・KCJA Class100

さらに上位賞を下記単位で設定しステッカーを発行する。

100～400点まで・・・50点増加毎

400～600点まで・・・25点増加毎

600点以上・・・10点増加毎

KCJAの規約詳細および特定申請用紙は

〒964-0203 福島県二本松市木幡字塩之沢 162 氏家一男(JH7FQK) までSASEで請求、または
KCJweb <http://www.kcj-cw.com/> からダウンロードして下さい。

【CWer のためのコンテストのご案内】

KCJではCWに特化した以下の2つコンテストを実施しています。

※ KCJ トップバンドコンテスト (毎年2月)

135kHz 帯および475kHz 帯がアマチュア無線に許可された現在、1.8/1.9MHz 帯は「もうトップバンドではないのでは？」という声も聞こえますが、それはそれとして、今年も2月14日(土)～15日(日)に、第31回KCJ トップバンドコンテストを実施しました。

多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。2月25日現在、147局からログを提出いただいております。

※ KCJ コンテスト (毎年8月)

JARL 以外の一一般のクラブ・同好会が主催するCWコンテストとしては国内で最も重要視されている(と思える)コンテストです。

開催回数は既に35回を数え、毎回500を超える局からログを提出していただいております。

この2つのコンテストではコンテストナンバーに、当会が制定した以下のアルファベット2文字の都府県振興局略称および大陸名略称を使用しており、非常にスピーディーなコンテストQSOが楽しめます。

宗谷総	SY	留萌	RM	上川総	KK	空知総	SC	石狩	IS	根室	NM	後志総	SB
十勝総	TC	釧路総	KR	日高	HD	胆振総	IR	桧山	HY	渡島総	OM	オホーツク総	OH
青森	AM	岩手	IT	秋田	AT	山形	YM	宮城	MG	福島	FS		
新潟	NI	長野	NN										
東京	TK	神奈川	KN	千葉	CB	埼玉	ST	茨城	IB	栃木	TG	群馬	GM
静岡	SO	岐阜	GF	愛知	AC	三重	ME						
京都	KT	滋賀	SI	奈良	NR	大阪	OS	和歌山	WK	兵庫	HG		
富山	TY	福井	FI	石川	IK								
岡山	OY	島根	SN	山口	YG	鳥取	TT	広島	HS				
香川	KA	徳島	TS	愛媛	EH	高知	KC						
福岡	FO	佐賀	SG	長崎	NS	熊本	KM	大分	OT	宮崎	MZ	鹿児島	KG
小笠原	OG	南鳥島	MT									沖縄	ON
アジア	AS	オセアニア	OC	ヨーロッパ	EU	北米	NA	南米	SA	アフリカ	AF		

【KCJ が主催するコンテストに参加される方へお願い！！】

既にご承知いただいている方も多くいらっしゃると思いますが、ここでKCJのコンテストにご参加いただく方に再度 お願いを致します。

KCJではご提出いただいたログを全て電子データ化して、互いに突き合わせを行い、一致したQSOデータにポイントを計上する、というシステムを採っております。

したがってコンテスト中にたとえ1局でもコンテストQSO(ナンバー交換)をされましたら、ぜひログをご提出くださいますようお願い致します。

【KCJ への入会を希望される方へ】

入会申込書は会員担当に E-mailで請求願います。(KCJ公式HPからD/Lも可能です)

SASE(長形3号封筒に宛先を記入して92円切手を貼付)を送って取り寄せも可能です。

送付先: 〒174-0046 東京都板橋区蓮根

1-1-22-205

JM1PWW 工藤博昭

(E-mail: kcj-mem2(a)kcj-cw.com)

入会申込書に必要な事項を記入の上、会長まで郵送またはE-mailでお送りください。

送付先: 〒668-0821 豊岡市市場 602-1

JR3KQJ 中島昌己

(E-mail: kcj-c(a)kcj-cw.com)

役員会で承認された後、入会金 1,000円を納入していただくと、正式に会員になります。

【会員紹介コーナー】

『私のハムライフ』

#246 JR3KQJ 中島昌己

リタイアが迫っていますので自分自身の棚卸も兼ねて今までの半生を振り返ってみたいと思います。

※小学時代はゴミ捨て場漁り

私は三人兄弟ですが五歳年上の次兄の影響を大きく受けて、遊びや切手収集などを何でも真似しながら大きくなったような気がします。その次兄が高校生になった頃に半田鋸を片手に、ラジオを毎日のように作っていました。私は近所のゴミ捨て場で見つけたオモチャからモーターを外して車を作ったり、ラジオを拾ってきてはST管を並べて遊んでいました。

※中学時代はラジオ少年

次兄がAM送受信機を作って開局し(JA3TQB)、スピーカーマイクに向かって大声で怒鳴りながら訳の分からない事を言って交信していました。自宅は全く問題無かったのですが、100m以内でたった一軒のお隣にTVIを起こしてこっぴどく叱られていました。

私が最初に作ったのはゲルマラジオで、ベニア板に2連バリコンとコイルを並べてクリスタルイヤホンを繋ぎ、学校で友達に聞かせて得意になっていました。次は技術家庭科の教科書にあった三球ラジオを溜め込んでいた部品を組み合わせで作りましたが、初めてスピーカーから音が出た時の驚きが忘れられません。

バイトで買った短波ラジオで、当時流行のBCLに嵌って内外の放送局のベリカードを集めましたは何処に仕舞い込んだか探し出せません。

※高校時代はムセン少年



(写真① 高校クラブのシャックにて)

実業高校の電気科に進みましたが、偏差値で振り分けられた人と興味を持って入学した人に二分され、自分より遥かにレベルの高い友人は新鮮な驚きで大いに刺激されました。当然無線クラブ(写真①)に入って、先輩のQS0を眺めていましたが、高一の秋に大阪まで出かけて電話級を取得しました。

次兄は就職して居ませんでしたが、押し入れにしまっていた50Bラインを取り出して、柿の木に張っていた7M DPを繋いでワッチしました。当時の7Mはビギナーが入り込む隙間は無く、無理やり3.5Mに乘せて1st QS0が何とか達成できました。(写真②)



(写真② 開局当時の 50Bライン)

※自作に夢中

トリオのコイルパックKR3を使って作った、高一中二の中波はびっくりするほど良く聞こえましたが短波は全く聞こえず、リタイアしたらゆっくり原因を調べたいと思っています。

アンテナハンドブックを片手に、TVアンテナを改造して2mの4エレ八木を作り、TR2200Gの1Wで中国山地を超えて高松市とQS0できた時は嬉しかったです。

21MのHB9CVを作り1st DXはKH6の局で、学校で大いに自慢したものです。次に14Mに改造しましたが高さ7mでは全く飛ばず、初雪で見ても無残な姿になりました。

※CWを覚える

次は電信級を目指してモールスを覚えるため、プラスチックの菓子ケースに低周波発信器を組み込んで毎日練習です。ラジカセの電圧を落としてテープ速度を遅くし、何度も聞きなおしました。

電信級の合格通知が届いた当日!! に恐る恐るCQ局をコールしてみましたが、全く取れません。何も分からずに打っただけ打ってファイナルを送りました

が、後でゆっくり録音を再生したらQTHやリグなどを送っていました。

これではアカン! と思って更に受信練習に励み、半年後には2級を取得して、勉強などそっちのけで無線に励みました。6JS6Cシングルで1.9Mの送信機を作り、田舎の特権でフルサイズDPを上げましたが、これは良く飛びました。一度CQを出すと豊岡市が珍しいこともあって次々に呼ばれ、10分くらいのラバスタを延々と繰り返しましたが、当時は599 BKなんぞは思いもよませんでした。

※そして就職

ムセンがしたくて自宅に残ったような気がします。が、転勤の無い(はずの)独立採算制の家電メーカーの地方工場に就職しました。一年後に枚方市にある研修所で一年間学びましたが、何と6人部屋で、ムセンができる雰囲気ではなく、止む無く屋上に50Mの4エレを上げて、自室からDC12V線を引き回してRJX601で豊岡では相手が全く居ない50Mを楽しみました。7M DPの残骸が残されていましたが、後日これはJA2MEI局の置き土産と判明しました。

※地域クラブで活動

フォックスハンティングに参加したのをきっかけにJARL豊岡クラブに入会しました。緒先輩の路線対立から中立的な私が二十歳過ぎで会長に担がれてクラブ内融和に苦労しましたが、今にして思えばこれは良い経験でした。北兵庫の4つの地域クラブに呼びかけて、但馬ハムの集いというイベントを15年続けましたが、私が茨木市の工場に出向したこともあって途絶えました。

※アワードとコンテスト

小さい頃から運動や書道などで友達が表彰されるのを羨ましく見ていましたが、ムセンでアワードが取得できるのを知ってカード集めを頑張り、CHCに入会しその後はJAGに移りました。WACAを取得するのに最後の10市くらいはSASEでスケジュールを依頼しましたので、今のネット社会を思うと隔世の感があります。

何気なく参加した京都コンテストで入賞し、表彰案内が届きましたので、YL同伴(XYLO秘!)でワザワザ京都の国際会議場まで出かけました。その後はコンテストクラブを設立して、これは今でも活動を継続しています。

※そしてKCJ入会

CQ誌の1/3ページくらいを使って掲載された設立呼び掛け文は記憶していますが、当時は手送り電信に限定されており既にエレキーを使用していた私は躊躇しました。KCJAアワードは一連のハンティングの過程でNo. 11という早い番号で取得しています。

今のXYLとドライブのついでに、JR3XEX伊達さん宅に突然押し掛けた際に話しを伺い、ザ・キーを読んでKCJAランキングなどが面白そうだと感じたのが直接のきっかけです。入会の契に書かれたCW至上主義に反発して、生意気な事を入会申込書に書いて半年ほど審議期間を要しました。

役目からPDF化された過去の入会申込書が手元に

ありますが、読み返すたびに赤面しています。正直言ってKCJにこれほど深入りするつもりは無かったのですが、これも何かの縁ですので今後もできることはお手伝いしたいと考えています。

※これからのこと

AJA, JCA, KCJAをライフワークとして取り組んでいますが、HF帯はほぼ終わりましたのでVUSHF帯を開拓しています。ただこのジャンルも高齢化が進んで相手が居るか、そして自分がいつまで六甲山に登れるかが勝負となりそうです。

自宅にそびえる20mのタワーと2本のコン柱に上げたアンテナ群もこれ以上拡大しないように考えています。自分の体重を手足だけで垂直に20m持ち上げるのは今でも何度か休憩が必要です。

年齢を送るコンテストに参加するとやはり80歳くらいが限界点かと思いますが、これからも指先が動く限りはCWを楽しみたいと思っています。

長文失礼しました。

【各局短信】

◆ JH1XUP : 今年も宜しく御願います。暮れに関東エリアの忘年会をやりましたが、集まりが今ひとつでした。幹事さん御疲れさまでした。今年はKCJ創立40周年との事、いろいろなプログラムがあるようですね。お手伝いできる事があれば動きますので宜しく御願います。何とか毎日新しい局とQS0したいと毎年思うのですが15日で切れてしまいました。CWの好きな方とSSBが好きな方ははっきり分かれています。私はCWが多いですがマイクもありますので、SSBにも出ています。お空でお会いできる日を楽しみにしています。

◆ JN1WXW : なかなかQRVできません。NYPもCWで3年目になりました。12年までがんばります。

3日だけのIBひたちなか市の実家からのQRVで当初、50MHzで20QS0目指しましたが、閑古鳥なので、急遽7MHzのINV.Vを設置して、なんとかなりました。

◆ JQ1NGT : QS0パーティー毎年目標を決めて参加しています。

今年はマルチバンド、マルチモードとしました。

430MHzのFMから開始し20局交信。その後各バンドに移り出来るだけむらが出ないように運用しました。期間中50MHz AMのQS0パーティーがあったので何局か交信しました。

最近では1エリアでもイベントがないとなかなかAMは聞こえません。

今回で30回目の参加となるため他に出来ることを考え1月3日朝W向けに電信でCQ NYPを出し6局交信。QS0パーティーで海外と交信は初めてでした。聞いた範囲だと他に海外向けにCQ NYPを出している局はいませんでした。

3日夕方7MHzでJA8AJE笠原さんと交信。笠原さんと夏50MHzで何回か交信するので冬の交信は珍しいです。

◆ **JA2MYA**：平成17年1月28日にJA2MYAの総QSO数が130,000局に達しました。コンテストや移動運用などを含んでいますのであまり自慢にはなりませんが、今後は14万局達成に向けて頑張りたいと思います。

◆ **JA20LJ**：DXCCの申請書類はARRLのフィールドチェック待ち状態まで、整いました。

この勢いでと、JARLアワードマスターに挑戦しました。アワード72枚、ステッカー1枚、盾2個申請。手書きでなくて、幸いです。読売10000局賞国内部門の時は全部鉛筆書きで、小指が変形するのではと思ったくらい痛かったのです。世界部門の時はHamLogを細工して直接データのプリントアウト。楽ちん楽ちん。頭のPCボケ防止のためにも今後もCW頑張る予定です。

移動範囲も少しずつ拡大。白色のアテナザ「599」、お会いしたら是非声をかけてください。

追伸？ WACA (No. 2421 7MHz CW)、WAGA (No. 1677 CW) Get! JARLアワードマスターも Get!

◆ **JA2PYD**：今月は最高に少ないです。退職しますので、4月からは移動します。準備はすすんでおり、楽しみが増えます。

◆ **JS2KHM**：1月は、QSOパーティーぐらいとなっていました。たまにRIGのスイッチを入れても、ほとんど聞こえず。カードや今までのQSOデータの整理の一月でした。アンテナの地上高アップを計画してはいますが、寒くてなかなかやる気が起きません。2月からぼちぼちと。

◆ **JA3VOV**：今年の無線は、QSOパーティーからスタートし、兵庫コンテストではV・UHFで楽しみました。ただ、週末無線家にとって、休日出勤はアクティビティがさがり、一般QSOは34局に留まりました。

◆ **JH3HGI**：【上郡町合併60周年記念局】(8J3KGR)が2月7日からQRV開始しました。オペレーターは九分九厘 私です。今のところCW、RTTYのみのオンエアですが、いずれSSBにも出る予定です。

この局の運用は今年の12月31日までの予定です。この局に関する詳細は私のホームページ

<http://www.jh3hgi.net/>

をご覧ください。

◆ **JI3NOF**：今年はスロースタートです hihi

◆ **JA5CUX**：目標であったEP6イラン、K1Nナバッサ、TI9ココスと何とかQSOできました。K1Nは、終了予定前日に滑り込みセーフという状況でした。遠かったDXCC300が手の届くところに來た感じがしてきましたが、簡単にできそうで、できていないエンティティが多数でどう攻めるかが課題です。

香川県支部大会会場でお会いできることを楽しみにしております。讃岐うどん屋巡りのついでにお出かけください。

◆ **JG6CDH**：NYPはRTYを中心に結構楽しみました。

主に再開後にBURO経由で届いたQSLとeQSL受信箱からダウンロードした約2年分のQSLデータをJCA申請ファイルに少しずつ入力し始めましたが、庭梅が開花する頃には何とか4500P前後からのスタートに

なるかな。JCAは私の運用形態にもJUST-FITのようでこの先長く楽しめそうです。

◆ **JA7TJ**：昨年正月とはDXの入感・強度、まるで違います。オールバンド・ワイヤー局としてはヒゲキです。QSO成果は3.5MHzと7MHzのみでは。

◆ **JG7UVU**：昨年12月からQSLカードのデザインを新しくしました。

◆ **JA8AJE**：DXがたったの2局、コンディションが落ちてくるこれからは、この調子で国内しかQSOできないかもしれません。できればもう一度サイクルのピークを味わいたいものです。

◆ **JG8NKJ**：年明けに1A0Cが聞こえましたがQSOは叶いませんでした。18はLPだったので3.5DPの方が信号が強く急遽3.5DPを受信専用機に接続替えしてトライしましたが、ベアとそっぽを向いた2ELではまともに届くはずもなく、首の回らないANTを早く何とかせねば、と実感した次第。

工作に嵌ってしまい、月間アクティビティは激減ですHi。

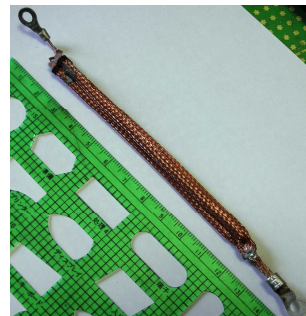
Top Band Testのエントリーを思い立ち、3.5DPにTRAP装備を考えたのが工作に嵌った原因。

MFJ259が有れば用が足りると思って始めましたが、CmeterかLmeterが別途必要になり、久し振りに秋葉探索(WEBです)。¥950のCmeterキットが見つかったのでこれで止めておけば良かったのですがつい余計なものにも手を伸ばし、お年玉がすっからかんです(笑)でも存分に楽しめています。本来の目的(TRAP)そっちのけで半田コテを握っていたことと、雪の事情でANTは間に合わなそう！



今回はSWLでの参加を目論んでいます。SWLのLOGってどう書きゃ良いのかな？

写真は仕掛中のCOILと、3本束ねた同軸C。無事完成したら顛末をお知らせします。



(完)